



#### 群馬大学がんプロフェッショナル養成プラン：北関東地域連携がん先進医療人材育成プラン

本プログラムは「群馬大学がんプロフェッショナル養成プラン：放射線治療品質管理インテンシブコース」の連携大学である群馬県立県民健康科学大学によるものです。このインテンシブコースでは放射線治療に関わる技術者の技術の向上により放射線治療の質と安全をより高度なレベルに導くことを目的としております。

昨年度は東日本大震災の発生により講義が中止となり、皆さんにはご迷惑をおかけしました。本年度前半のインテンシブコースを、下記の内容で開催致します。皆様の参加をお願い致します。

後援：群馬放射線治療技術研究会

(社) 日本放射線技術学会関東部会 関東RT研究会

開催場所：群馬県立県民健康科学大学

コーディネータ：群馬県立県民健康科学大学 保科正夫

Email: [hoshina@gchs.ac.jp](mailto:hoshina@gchs.ac.jp)

#### 受講手続き

講義は下記の内容となっております。希望する方は、氏名と希望講義日時を明記したメールを上記の保料のメールアドレスに発信してください。

#### 講義スケジュール

2011年6月14日（火）午後6時～午後7時30分 講師：保科正夫

放射線治療における深部線量特性、深部線量関数の関係

2011年7月19日（火）午後6時～午後7時30分 講師：宮田治郎（伊勢崎市民病院）

種々の電離箱の応答特性

#### 講義1：放射線治療における深部線量特性

吸収線量に寄与する因子として一次線と散乱線がある。通常の線量評価において、このことを意識することは少ないが、線量処方点（ICRU基準点）以外に線量を評価するような場合には、このことを意識した展開をする必要がある。臨床において起こりうる状況設定の中で、この種の問題について講義する。放射線治療専門技師や放射線治療品質管理士の試験やレポートについての解説を含む。

## 講義2：種々の電離箱の応答特性

高エネルギー放射線に対する電離箱の特性を、種々のタイプの電離箱について示す。それらを踏まえ、標準測定法における測定原理や測定上の注意についても解説する。線量測定の精度を図る上でも必見の講義である。